

地中探査

2周波で深度の異なる測定が可能
地中からトンネルまで、迅速な地中探査はおまかせ！

安全な工事を遂行するためには事前の調査が重要です。
地下埋設管や空洞探査に威力を発揮するユーティリティスキャン DF は、
いままでより高い精度の測定結果を導き出すことが可能になりました。
地中の状態を把握し安心して掘削工事に臨むために、地中探査の実施をおすすめいたします。



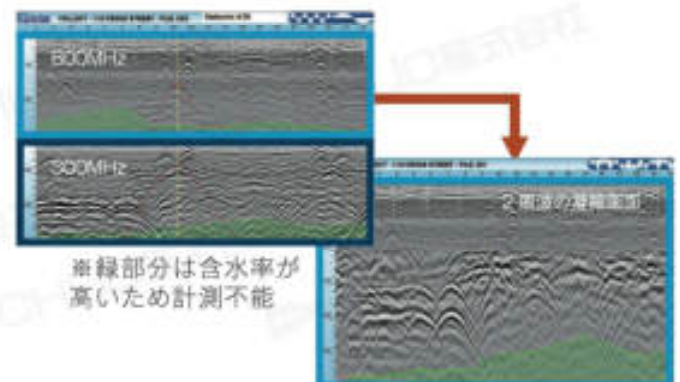
ユーティリティスキャン DF (GSSI 社)



液晶コントローラー

■ 2周波だからココまででき

電磁波レーダによる地中探査は、地面に対して電磁波を照射し、地下の埋設物からの反射によって位置や深さを計測するものです。ユーティリティスキャン DF は、300MHz と 800MHz の2周波を照射、4cm～約300cmまでの幅広い地中探査が可能になります。



■ 芝生庭からコンクリート地面まで

探査可能な環境は「土」「芝生」「コンクリート」「アスファルト」など、様々な土壌の条件、現場に対応いたします。



芝生庭



コンクリート地面